

『最新 中学校保健体育』教科書の構成と内容

1年 体育理論① 運動やスポーツの多様性				★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫
とびら	4～5	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。		
1. 運動やスポーツの必要性と楽しさ	6～7	(1)ア(ア)、イ、ウ	<div>1人は、なぜ運動やスポーツをおこなうのだろうか。</div> <div>2スポーツの意味は、どのように変わってきただろうか。</div>	<div>●運動やスポーツの必要性和楽しさがイメージできるように、写真やイラストを豊富に用いて工夫している。</div> <div>●スポーツの捉え方の広がりや、イラストを中心にわかりやすく示している。</div>
2. 運動やスポーツへのかかわり方	8～9	(1)ア(イ)、イ、ウ	<div>1運動やスポーツには、どのようなかかわり方があるのだろうか。</div> <div>2運動やスポーツにかかわれるのは、特定の人だけだろうか。</div>	●東京マラソンや野球の試合、中学校の運動会を例に、スポーツへの多様なかかわり方を示し、理解できるようにしている。
3. 運動やスポーツの多様な楽しみ方	10～11	(1)ア(ウ)、イ、ウ	<div>1運動やスポーツには、どのような楽しみ方があるだろうか。</div> <div>2豊かなスポーツライフを実現するためには、どのようなことが大切だろうか。</div>	●ランニングを例に運動やスポーツの多様な楽しみ方を解説した上で、豊かなスポーツライフの実現に必要な条件をわかりやすく示している。
特集資料	12～13	運動やスポーツを「知る」というかかわり方について掲載しているほか、「ゆるスポーツ」や「超人スポーツ」を取り上げ、運動やスポーツの楽しみ方が多様であることを実感できるように工夫している。		
章のまとめ	14～15	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。		

1年 保健① 健康な生活と病気の予防①					★配当時数4時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	16～17	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 健康の成り立ち	18～19	内容(1)ア(ア)、イ	①健康については、どのような考え方があるだろうか。 ②健康には、どのような要因が関係するだろうか。	●現行学習指導要領で第3学年から第1学年に取扱いが変更になったことを踏まえて、内容を整理し、学習しやすくなるように工夫している。	
2. 運動と健康	20～21	内容(1)ア(イ)、イ	①運動は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような運動のしかたが健康によいだろうか。	●日本人の運動量が減少していることを取り上げ、運動習慣の重要性を理解できるようにしている。 ●自分の運動習慣を振り返り、改善の方法を考える学習活動を設定している。	
3. 食事と健康	22～23	内容(1)ア(イ)、イ 内容の取扱い(3)	①食事は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような食事のしかたが健康によいだろうか。	●食事の重要性を語るスポーツ選手のコラムを示し、健康的な食習慣の重要性が理解できるように工夫している。	
4. 休養・睡眠と健康	24～25	内容(1)ア(イ)、イ 内容の取扱い(3)	①疲労は、健康とどのように関連しているだろうか。 ②どのような休養・睡眠のしかたが疲労の回復によいだろうか。	●スマートフォンと疲労の関係を示し、自分の生活を見直すことができるようにしている。 ●心身が成長する中学生期は、「早寝早起き朝ごはん」が重要であることを脚注に示している。	
特集資料	26～27	健康を保持増進するには、運動、食事、休養・睡眠のどれか1つを意識すればいいというわけではなく、3つの要素の調和をはかることが重要であることを理解できるようにしている。			
章のまとめ	28～29	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			

1年 保健② 心身の発達と心の健康				★配当時数	12時間	
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫		
とびら	30～31	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。				
1. 体の発育・発達	32～33	内容(2)ア(ア)、イ	<div>❶私たちの体は、これからどのように発育・発達するだろうか。</div> <div>❷体の各器官の発育・発達には、どのような特徴があるだろうか。</div>	●これからの発育・発達や生涯の健康において、中学生期の生活のあり方がいかに重要かが示されている。		
2. 呼吸器・循環器の発育・発達	34～35	内容(2)ア(ア)、イ 内容の取扱い(6)	<div>❶呼吸器・循環器の働きは、どのように発達するだろうか。</div> <div>❷呼吸器・循環器の働きを高めるには、どうすればよいだろうか。</div>	●呼吸器・循環器の発育・発達が持続的な運動を継続的にこなうこととうながされることを取り上げ、体育理論編の学習との関連をはかるとともに、体育授業や日常生活の中で体を動かすことの大切さを示している。		
3. 生殖機能の成熟(1)	36～37	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	<div>❶思春期には、どのような体の変化が起こるだろうか。</div> <div>❷女子の生殖の働きは、どのように発達するだろうか。</div>	●思春期の体に起こる変化は、新しい命を生み出せる体への成熟の過程であり、その起こり方や時期には個人差があることが理解できるように示している。		
4. 生殖機能の成熟(2)	38～39	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	<div>❶男子の生殖の働きは、どのように発達するだろうか。</div> <div>❷受精が起こるしくみは、どのようなものだろうか。</div>	●Q&A形式の「健康相談コーナー」を設けて、思春期の性に関する身近な疑問を取り上げ、正しい理解をうながすとともに、中学生の不安や心配の解消をはかるように工夫している。		
5. 性への関心と性情報への対処	40～41	内容(2)ア(イ)、イ 内容の取扱い(7)	<div>❶性への意識は、みな同じ時期に同じようにあらわれるのだろうか。</div> <div>❷性情報へはどのように対処したらよいだろうか。</div>	<div>●性意識には個人差があること、性に関する不安や悩みがあるときには、信頼できる大人や専門家に相談できることを示している。</div> <div>●SNSを通した自画撮り被害の事例を示し、性情報への対処について考えられるように工夫している。</div>		
特集資料	42～43	「性役割」や「性の多様性」について取り上げ、差別や偏見を生むことなく、個性を尊重できる資質・能力を育成できるように工夫している。				
6. 知的機能・情意機能の発達	44～45	内容(2)ア(ウ)、イ	<div>❶心にはどのような働きがあるだろうか。</div> <div>❷心は、どのように発達していくだろうか。</div>	<div>●脳の神経回路の発達について、科学的根拠（エビデンス）に基づいたコラムでわかりやすく説明している。</div> <div>●知的機能や情意機能は、経験や学習によって発達することがわかるように、資料を工夫している。</div>		
7. 社会性の発達と自立	46～47	内容(2)ア(ウ)、イ	<div>❶社会性は、どのように発達するだろうか。</div> <div>❷社会性と自立は、どのように関係しているだろうか。</div>	●友だちとのコミュニケーションのあり方を学ぶ学習活動を設定し、自他を尊重した表現技能が身につくように工夫している。		
8. 自己形成	48～49	内容(2)ア(ウ)、イ	<div>❶自分自身について考えることの意味とは何だろうか。</div> <div>❷自己形成のためにはどのようなことが必要だろうか。</div>	●プロ棋士の藤井聡太さんをコラムで取り上げ、幼少期と現在の様子を比較することで、中学生が自己形成について身近に考えられるように工夫している。		
9. 欲求とその充足	50～51	内容(2)ア(エ)、イ	<div>❶欲求とは何だろうか。</div> <div>❷欲求を充足するときにはどのような点に注意すればよいだろうか。</div>	●欲求は私たちの成長に必要不可欠なものであること、欲求不満の状態が長く続くと心身の健康を損なうので、欲求を適切にコントロールする必要があることが理解できるようにしている。		
10. 心と体のかかわりとストレス	52～53	内容(2)ア(エ)、イ	<div>❶心と体は、どのようにかかわっているだろうか。</div> <div>❷ストレスは、私たちにどのような影響を与えるだろうか。</div>	●心と体がかかわっているしくみやストレスの心身への影響について、身近な事例や模式図を使ってわかりやすく示している。		
11. ストレスへの対処のしかた	54～55	内容(2)ア(エ)、イ 内容の取扱い(8)	<div>❶ストレスへの対処のしかたには、どのようなものがあるだろうか。</div> <div>❷ストレスへの対処の方法を選ぶときには、何に気をつければよいだろうか。</div>	●ストレス対処の方法の一つとして、スポーツや友だち関係の事例を挙げて、受け止め方を見直す学習活動を設定し、工夫している。		
12. 実習 リラクゼーションの方法	56～57	内容(2)ア(エ)、イ 内容の取扱い(8)	<div>❶体の緊張をほぐすことで、気分が楽になることを体験する。</div> <div>❷リラクゼーションの技能を身につける。</div>	●「呼吸法」「体ほぐしの運動」「筋弛緩法」の3つを取り上げて、技能を身につけられるようにしている。		
特集資料	58～59	心の健康をくずす原因となるストレスについて理解を深められるようにするとともに、はるな愛さんのメッセージを掲載し、いじめについて考えられるようにしている。				
章のまとめ	60～61	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。				

2年 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全					★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	62～63	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 運動やスポーツの体と心への効果	64～65	(2)ア(ア)、イ、ウ	①運動やスポーツをすると、体や心はどのように変化するだろうか。 ②どのように運動やスポーツに取り組めば、社会性を高められるだろうか。	●運動やスポーツには心身両面への効果が期待できることについて、豊富な写真やイラスト、具体例などを用いてわかりやすく示している。	
特集資料	66～67	体力の高め方について取り上げ、体づくり運動と関連づけて指導できるように工夫している。			
2. 運動やスポーツの学び方	68～69	(2)ア(イ)、イ、ウ	①運動やスポーツで用いられる技術や戦術とは何だろうか。 ②技術や戦術は、どのように学べばよいだろうか。	●技術、戦術、作戦の定義やそれぞれの関係が視覚的に理解できるように、イラストを使ってわかりやすく示している。 ●運動の技能を獲得するための効果的な手順を図示することで、理解が深まるようにしている。	
3. 運動やスポーツの安全なおこない方	70～71	(2)ア(ウ)、イ、ウ	①安全におこなうために、運動前に注意することは何だろうか。 ②運動中や運動後は、どのような注意が必要だろうか。	●運動やスポーツの安全なおこない方が理解できるように、科学的なデータや具体例からわかりやすく解説している。	
特集資料	72～75	体育理論②に関わる様々な題材（「運動と脳」「試合に向けた心の準備」「柔道MINDプロジェクト」「運動やスポーツによるけが」など）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	76～77	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			

2年 保健③ 健康な生活と病気の予防②					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	78～79	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 生活習慣病	80～81	内容(1)ア(ウ)、イ	❶生活習慣病と呼ばれる病気には、どのようなものがあるだろうか。 ❷どのような生活習慣が、病気のリスクを高めるだろうか。	●現行学習指導要領で第3学年から第2学年に取扱いが変更になったことを踏まえて、内容を整理し、学習しやすくなるように工夫している。 ●むし歯と歯周病についてコラムで取り上げ、中学生の興味関心を触発するよう工夫している。	
2. 生活習慣病の予防	82～83	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(3)	❶生活習慣病は、どのようにして発病するだろうか。 ❷どうすれば生活習慣病を予防できるだろうか。	●生活習慣病の起こり方についての図解資料を提示し、病気の進行が理解できるように工夫している。 ●健康的な生活習慣について、イラストで具体的に提示している。	
3. がんとその予防	84～85	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(3)	❶がんは、どのような病気だろうか。 ❷どうすればがんを予防できるだろうか。	●がんの発生と進行のしくみ、予防のための適切な健康習慣について、イラスト資料やグラフを通して理解できるように工夫している。	
4. 生活習慣病・がんの早期発見とその回復	86～87	内容(1)ア(ウ)、イ 内容の取扱い(2)(3)	❶生活習慣病・がんを早期に発見するには、どうすればよいだろうか。 ❷生活習慣病・がんの治療には、どのようなものがあるだろうか。	●がん体験者の思いをコラムで取り上げ、中学生ががん患者への理解を深め、がん検診の重要性を理解できるように工夫している。	
5. 喫煙と健康	88～89	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	❶たばこの煙には何が含まれているだろうか。 ❷たばこの害は、どのようなものだろうか。	●近年問題となっている加熱式電子たばこに触れ、有害物質を含んでいて害は少なくないことを脚注で説明している。	
6. 飲酒と健康	90～91	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	❶お酒には何が含まれているだろうか。 ❷飲酒の害は、どのようなものだろうか。	●アルコールの心身への影響や大量飲酒の害について、図解資料やグラフを通して理解できるように工夫している。	
7. 薬物乱用と健康	92～93	内容(1)ア(エ)、イ 内容の取扱い(4)	❶乱用される薬物にはどのようなものがあるだろうか。 ❷薬物乱用にはどのような問題があるだろうか。	●薬物乱用の心身への害や社会への悪影響について、写真やイラスト資料を通して理解できるように工夫している。	

8. 喫煙・飲酒・薬物乱用のきつかけと対処	94～95	内容(1)ア(エ), イ 内容の取扱い(4)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●体育分野との関連を図る観点から、ドーピングの健康への影響についてのコラムを取り上げている。
特集資料	96～97	保健③に関わる様々な題材（「見直そうスマホの習慣」「がんの早期発見をうながす活動」「がんの3つの治療法」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。		
章のまとめ	98～99	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。		

2年 保健④ けがの防止と応急手当					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	100～101	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. けがの原因と防止	102～103	内容(3)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●サッカーゴールなどの転倒事故をコラムで取り上げ、事故防止のポイントを示している。</div> <div>●学校生活や日常生活で発生する事故について、その危険を予測する学習活動を設け、工夫している。</div>	
2. 交通事故の実態と原因	104～105	内容(3)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●自転車事故でも多額の損害賠償をしなければならない場合のあることを、中学生の加害事故の資料で示している。</div> <div>●最近問題になっている「ながらスマホ」について、具体的な事例を取り上げている。</div>	
3. 交通事故によるけがの防止	106～107	内容(3)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●自転車乗車中のヘルメット着用的重要性や自転車安全利用五則について、コラムや資料で取り上げている。</div> <div>●交通事故の防止に向けて、危険予測をトレーニングする学習活動を設けている。</div>	
特集資料	108～109	中学生が受けやすい犯罪被害やネットワーク利用犯罪、性暴力を取り上げ、その危険性を認識させるとともに、予防対策を示している。			
4. 自然災害によるけがの防止	110～111	内容(3)ア(ウ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●自然災害によるけがの防止の意識が高まるように、チェックシート式に記入する学習活動を設けている。	
5. 応急手当の意義と基本	112～113	内容(3)ア(エ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●応急手当の学習によって救命できたコラムを取り上げて、応急手当の意義が理解できるようにしている。</div> <div>●応急手当の基本を理解させるとともに、救急車の呼び方についてイラスト資料で具体的に示している。</div>	
6. 心肺蘇生法の流れ	114～115	内容(3)ア(エ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●AEDの重要性と有効性について、グラフで示したり、ASUKAモデルのコラムを通して理解できるようにしている。</div> <div>●心肺蘇生法の流れについて、図解でわかりやすく示している。</div>	
7. 実習 心肺蘇生法	116～117	内容(3)ア(エ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●心肺蘇生法の方法と技能ポイントを図や写真で示すとともに、AEDの使い方も取り上げて、実習に取り組みやすいよう配慮している。	
8. 実習 止血法、包帯法、固定法	118～119	内容(3)ア(エ), イ 内容の取扱い(9)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●止血法、包帯法、固定法の方法と技能ポイントをイラストや写真でわかりやすく示すとともに、鼻血への対処法についても触れている。	
特集資料	120～123	保健④に関わる題材（「気象災害から命を守る行動」「地震災害から命を守る行動」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	124～125	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			

3年 体育理論③ 文化としてのスポーツ					★配当時数3時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	126～127	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、体育の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 現代生活におけるスポーツの意義	128～129	(1)ア(ア), イ, ウ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●スポーツ庁の世論調査などを示して、スポーツの文化的意義についてわかりやすく解説している。</div> <div>●スポーツ基本計画や地方公共団体の取り組みなど、最新のスポーツ推進施策を取り上げている。</div>	
2. 国際的なスポーツ大会の意義と役割	130～131	(1)ア(イ), イ, ウ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを豊富な写真を使って具体的に紹介している。</div> <div>●嘉納治五郎など、我が国のオリンピックの発展に重要な役割を果たした人物を紹介しながら発展の歴史を解説している。</div>	
特集資料	132～133	オリンピック・パラリンピック競技大会やワールドゲームズ、スペシャルオリンピックス、デフリンピックを取り上げ、これらの大会が開催されることの意義を実感できるようにしている。			
3. 人びとを結ぶスポーツ	134～135	(1)ア(ウ), イ, ウ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●スポーツがさまざまな違いをこえて人びとを結びつけていることを、多くの写真と具体的な事例を上げて紹介している。</div> <div>●スポーツがさまざまな違いをこえて楽しめる理由を考えるための学習活動を設けている。</div>	
章のまとめ	136～137	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			

3年 保健⑤ 健康な生活と病気の予防③					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	138～139	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 感染症と病原体	140～141	内容(1)ア(オ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●主な感染経路として、「飛沫感染」「空気感染」「接触感染」「媒介物感染」の4つを取り上げ、図解でわかりやすく示している。</div> <div>●飛沫と飛沫核の違いについて、イラスト資料でわかりやすく示している。</div>	
2. 感染症と体の抵抗力	142～143	内容(1)ア(オ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●難解な免疫のしくみについて、免疫細胞を擬人化した対話形式の資料にすることで、わかりやすく説明している。	
3. 感染症の予防	144～145	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●感染症からの回復や感染拡大の防止について、本文を通して理解できるように工夫している。</div> <div>●「マスクはなぜつける？」のコラムを通して、マスクは感染した本人がつける場合に効果を発揮することを説明し、「咳エチケット」について取り上げている。</div>	
4. 性感染症とその予防	146～147	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)(5)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●感染症の予防の学習を踏まえて構成し、感染を防ぐには接触感染を避けること、性感染症は不妊や子への感染など大きな問題であることを強調している。	
5. エイズとその予防	148～149	内容(1)ア(オ), イ 内容の取扱い(2)(5)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●感染症の予防の学習を踏まえて構成するとともに、HIV感染からエイズ発病までのしくみを図解でわかりやすく示している。	
6. 保健機関とその利用	150～151	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●個人の健康は社会的な取り組みに支えられていることを、国や地域だけでなく世界にも視野を広げて取り上げ、中学生が身の回りから外の世界へと関心の範囲を広げていけるよう工夫している。	
7. 医療機関とその利用	152～153	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●医療機関は、種類の違いによる役割を知って適切に利用することを理解できるようにしている。</div> <div>●医師の診察を受けるときに必要な準備について、図解でわかりやすく示している。</div>	
8. 医薬品の正しい使い方	154～155	内容(1)ア(カ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●薬についての誤解や疑問を読み解く学習活動を設定し、それに答えて正しい使い方を理解できるように工夫している。	
特集資料	156～159	保健⑤に関わる題材（「感染症との終わりなき闘い」「感染とがん」「アレルギー」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	160～161	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			

3年 保健⑥ 環境の健康への影響					★配当時数8時間
この教科書の構成	ページ	学習指導要領	学習内容	この教科書の工夫	
とびら	162～163	この章の学習内容が日常生活や社会とどのように関連しているかが示され、保健の見方・考え方を働かせた学習ができる。また、小学校、中学校、高校の学習内容が示されているので、小・中・高の系統性を踏まえた指導ができる。			
1. 環境の変化への体の適応	164～165	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●体の適応について、意見を出しあって考える学習活動を取り入れている。</div> <div>●適応能力の限界と環境変化への対策について、グラフやイラストでわかりやすく示している。</div>	
2. 気象情報の適切な利用	166～167	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●気象情報が健康や安全に貢献することを理解できるようにしている。</div> <div>●コラムで「熱中症ゼロへ」のウェブサイトを取り上げ、リスクや情報を収集し、熱中症を予防できるように工夫している。</div>	
3. 快適で能率のよい環境	168～169	内容(4)ア(ア), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●スマートフォンの普及にともない問題になっている「ブルーライト」をコラムで取り上げ、注意を促している。</div> <div>●自宅を快適に保つための環境面の工夫を考える学習活動を設定し、学習した内容を日常生活に生かせるようにしている。</div>	
4. 室内の空気の汚染と換気	170～171	内容(4)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●「シックハウス症候群」などを例にあげ、現代の建物の機密性が高いこと、よって換気的重要性が増していることを理解できるようにしている。	
5. 衛生的な飲料水の供給	172～173	内容(4)ア(イ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●衛生的な飲料水を供給することにおける水道施設の意味、そのしくみを図解でわかりやすく示し、水源の水を汚さないことの大切さが理解できるようにしている。	
6. し尿とごみの処理	174～175	内容(4)ア(ウ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	●ごみを放置するとどのような問題が生じるかを、昭和30年代まで使用されていたごみ箱を例に挙げ、環境衛生活動の重要性が認識できるようにしている。	
7. 災害と環境	176～177	内容(4)ア(ウ), イ	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●災害による衛生環境の悪化を取り上げ、情報の活用が自他の健康につながることを理解できるようにしている。</div> <div>●災害時のSNSはデマや誤情報が広がるきっかけになることを示し、情報の信頼性を判断するポイントを提示している。</div>	
8. 私たちの生活と環境問題	178～179	内容(4)ア(ウ), イ 内容の取扱い(10)	<div> <div>1</div> <div>2</div> </div> <div> <div>1</div> <div>2</div> </div>	<div>●公害や近年の環境問題を取り上げ、循環型社会の実現の重要性を理解できるようにしている。</div> <div>●最近問題になっている「海洋プラスチックごみ」を取り上げ、生活と結び付けて考え、発表する学習活動を設けている。</div>	
特集資料	180～181	保健⑥に関わる題材（「気候変動と健康」「熱中症の予防と応急手当」）を取り上げ、柔軟な指導計画に対応できるように工夫している。			
章のまとめ	182～183	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価するための問題を掲載している。			